



塚原・紅葉のモザイク林相



オンラインで
やま学校
しよう!

第6回

信子さん家の採れたてをお届け! 柚子ごしょうと椎茸ステーキ作り

10月2日に予定していた、手作り柚子ごしょうのやま学校。宮崎県の緊急事態宣言が直前の9月末まで延長されることに伴い、中止といたしました。その分、パワーアップしてオンラインやま学校を開催いたします!

オンライン当日に作っていただくのは、諸塚村の必須調味料、柚子ごしょうと旬の椎茸ステーキ他2品。講師には農家民宿「新家」のお料理上手、信子さんをお迎えし、一緒に作りながら進めていくので、お料理が苦手な方でも大丈夫♪

お届けするのは、信子さん家でとれた乾し椎茸と生椎茸・柚子・唐辛子・お米にキクラゲ!これだけでもとっても嬉しい諸塚の味。お昼には一緒に試食も。

自作の柚子ごしょうで、おうちに諸塚の味を常備しませんか。

詳細

開催: 11月14日(日)

時間: 10時~12時

定員: 10名※先着順 最少催行 5名

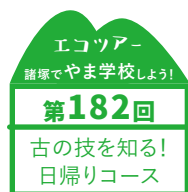
会場: zoomとご自宅のキッチン

代金: 5,000円/1人前(送料・体験料込)

オンラインショップ「もろつかストア」での体験商品ご注文をもってお申し込みいたします。

※当日はzoomを使って参加者の進捗状況を確認しながら進めます。カメラのご用意をお願いします。

申込期限 10月31日(日)



エコツアー
諸塚でやま学校しよう!

第182回

古の技を知る!
日帰りコース

諸塚村最高峰! 黒岳登山

山々が色づきだし、風は冷たく気持ちよく過ごせる季節に、諸塚村最高峰の黒岳へ。ブナの巨木に会いに行きましょう。



エコツアー
諸塚でやま学校しよう!

第183回

古の技を知る!
日帰りコース

かずらを編んで♪ カゴづくり

自然のままに育ったかずらを取って、編んで作るカゴづくりにチャレンジ!お子様や手作業が苦手な人はリースでもOK。

詳細	開催: 11月6日(土)	会場: 諸塚村内/黒岳
	時間: 10時~15時 しいたけの館21集合	代金: 4,000円/人 (昼食代・ガイド代・体験料込) ※料金は全て税込です。 ※小学生までのお子様の代金は お問い合わせください。
	定員: 10名※先着順 最少催行人数 5名 ※現地ガイド同行有	
	申込期限 10月30日(土)	

詳細	開催: 12月4日(土)	会場: 諸塚村内
	時間: 10時~15時 しいたけの館21集合	代金: 4,000円/人 (昼食代・ガイド代・体験料込) ※料金は全て税込です。 ※小学生までのお子様の代金は お問い合わせください。
	定員: 10名※先着順 最少催行人数 5名 ※現地ガイド同行有	
	申込期限 11月27日(土)	

お申込・詳細はコチラ

「もろつかナビ」で検索

〈発行元〉 送付をご希望の方、送付中止をご希望の方は下記へ
〒883-1301

宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代 3068 しいたけの館 21 内
一般社団法人 諸塚村観光協会 まちむら応縁倶楽部

TEL:0982-65-0178 FAX:0982-65-0189
ecom@vill.morotsuka.miyazaki.jp



情報発信中!

もろつかストア
Instagram
twitter
facebook
YouTube



しぜん、
つながる。

諸塚村
Morotsuka Vill.

昔日のリアルやま学校

コラム連載 vol.8 『昭和30年代の運動会』

秋の運動会の季節になりました。私が小学生(昭和30年度入学)の運動会は各学年3クラスで、生徒数も多く(700名以上)応援の家族を入れると今では考えられない位の人出でした。徒競走も、前に出発した生徒がコースの半分以上に達したら次の組がスタートしていました。障害物走と団技とダンスが終われば、駆けるのが遅い人は応援ばかりで退屈なものでした。

当時、中学校の運動会から、小学校、青年とそれぞれに運動会があり、中学校の記録会までありました。村民体育大会は行われていなかったと思います。

運動会の楽しみは、お昼休みにアイスキャンディを買って食べる事。出店も並ぶ中、自転車に積んだ木箱にアイスキャンディが入っていました。減多に渡らない{食べる機会がない}から肌寒い日でも鳥肌立てても食べたもので、今思えば「思えば遠くへ来たもんだ」の思いです。

尾形



▲お祭りでしょうか?すごい人出!



▲うっすらと運動会の文字が

インタ ビュー

森の村から未来を描く

新時代を生きる諸塚のわけもん達

vol.8

緑のふるさと協力隊

さなえ

河内 彩奈咲さん



大学を1年休学して、今年の4月から1年間任期の緑のふるさと協力隊の隊員として諸塚へやってきました。1年間でできる限り、山の暮らし・諸塚の生活を体験したいと思っています。

—どんなことをしているの?

主に農林業のお手伝いですね。例えば、お茶摘み・お茶工場や田植えなど、村で運営している菌床キノコのブロック工場に行ったり、子牛の競り市に行くこともあります。また将来、教育に関わる仕事に携わりたいと思っています、小学校での読み聞かせやプールの指導補助、放課後子ども教室へもお手伝いにいきます。

—諸塚での活動も折り返し、今後の抱負は?

まだまだ村内で行った事が無い場所もあるので、どんどん出かけていきたいです。私が出掛けていくことで、諸塚の皆さんに諸塚をもっと好きになってもらえたらうれしいです。出会った諸塚の人から「諸塚いいところでしょ」ってたくさん言ってもらえるように、私も諸塚でできることをいろいろやってみたいと思っています。

茨城県つくば市出身 21歳
緑のふるさと協力隊 第19代隊員
好きなこと:体を動かすこと(スポーツ全般。特に水泳が得意)、K-POPの曲や動画を観たり聞いたりすること。
日々の活動をInstagramで更新中!
@_sunsan0

▼子牛の競り市のお手伝い



インタビュー：田邊

移住者の目で見ると諸塚の人と自然をお届けします。

都会で暮らす人の多くは、スズメ蜂やマムシは怖いものだと思います。蛇を見たことがない人もいるでしょう。ある日、芝生の上を歩いていると、進行方向にじっと私を待ち構える茶色い蛇が目に入りました。「マムシ!？」写真でしか見たことがなかったマムシの姿にドキドキしましたが、無事にその場を通過できたのでホッとしました。数分経って戻るとマムシはいなくなっていました。東京から来た学生さんがその辺を歩いていたので「そこでマムシを見たから気をつけて!」と言うと、意外と怖れる様子もなく普通に歩いて来ます。度胸が座っているなあ、と感心していると「マムシってどんな虫ですか?」と尋ねられました…。

「マムシを初めて見ました!怖かったけれど距離をとって歩いたら大丈夫でした!」と、泣かず叫ばず冷静を装って通過したことを誇らしげに報告する私に、「マムシを見たら棒で叩き殺さないで駄目だよ!」と村の人。もっと逞しくならないといけないのだと悟りました。昔、蛭を見て気が狂ったように叫び声をあげた私が、あまりにも何度も蛭を見るうちに、いつの間にか平気で皮膚に吸い付いた蛭をつまみ取るようになっていたことがあります。蛭に慣れたように、マムシを叩き殺せるようになる日がやってくるのでしょうか。マムシは薬効の高い民間薬で、捕獲する人もいます。どうやってマムシに毒を吐かせマムシ酒にするのかを楽しそうに話してくれ、「マムシがいたら教えてくれよ」と言われると、マムシがそう恐ろしいものではない気がしてきました。マムシ酒にするために捕獲したマムシを台所に隠しておいたら、ある日、それを見つけた奥さんの叫び声が家中に響き渡った、あの時はすごく怒られた!と苦笑しながら話してくださる方もいました。

キイロスズメ蜂をアカバチといい、家の軒下に巣ができたと言うと、喜んで取りに来てくれる人が村にはたくさんいます。「もっと太るんだけどねえ。」と大きな蜂の巣をもったいなさそうに見上げた後、手際よく巣を取ってみせてくれました。恐る恐る顔を近づけてみると、六角形の各部屋の中には幼虫がいます。この蜂の子が栄養バランスに優れ、滋養強壮になるそうで、蜂の子そうめん、バター焼きなど、美味しい食べ方がいろいろあるようです。蜂の子が好物だという人は多く、頼もしい蜂の巣ハンターがたくさんいるのも山村ならではの風景です。

毒虫や毒蛇に出くわして、毒に食われる人もいますが、薬として使って元気になる人もいます。「毒あるものは、裏腹に薬効や豊富な栄養もある」だなんて人生の教訓になりそうだなと思いました。いつ何に遭遇するかを選ぶことはできないけれど、それを毒と見るか薬と見るかは自分次第。起こってしまった出来事が、心身を病ませる毒になってしまうのか、強く成長するための栄養剤になるのか…。マムシもアカバチも辛い出来事も、薬にみえるようになりたいものです。



▲駆除したハチの巣

金子

VIEW SPOT

大規模林道沿い、池の窪グリーンパーク近くの倉の平展望所は、絶景に出会えるチャンスが多い場所。雲海もいいですが、どこまでも広がる雲と空を近くに感じ、ただただ敬虔な気持ちになります。

岩切

ご報告

森の青い滴♪ブルーベリーで ジャム&バームクーヘン作り

2021年7月17日 開催

エコツアー
諸塚でやま学校しよう!

第178回

古の技を知る!
日帰りコース

朝から激しい雷雨となり、急遽予定を変更。午後の予定(ジャムとバームクーヘンづくり)を、午前中に行うことにしました。

ジャム作りを何度かしたことがあり、もっと上手に作れるように勉強したいというやま学校生が主となり、ブルーベリージャムは丁寧にとろみがつくまで煮詰められました。

バームクーヘン生地は2人の小学生が分量を量って、お母さんやお婆さんと一緒に作り、ひいお爺さんとひいお婆さんがその姿を見守る光景が微笑ましかったです。

場所を移動し、バームクーヘンを焼いていきます。予め起こしておいた炭火の上で、竹の周りにまとわせた生地をクルクル回しながら焼き色をつけていく作業は、なかなか根気のいる作業となりました。

焼きあがったバームクーヘンは、先に作っておいたブルーベリージャムと諸塚産日本ミツバチのはちみつを添えて、やましぎのお茶と一緒にいただきました。

バームクーヘンが焼きあがる頃には小雨になり、雨上がりの道をゆっくり移動。ブルーベリー園へ到着すると、雲海広がる景色がお出迎えしてくれました。雨もすっかり上がり、景色もブルーベリー摘みも存分に楽しまれた様子でした。



▲皆さん作業が丁寧です



▲慎重にバームクーヘンの層を重ねます



▲標高600m! 天空の黒原ブルーベリー園

ご報告

YouTubeで見られます! 黒岳のキレンゲショウマ

開催直前で涙をのんで中止を決定した、黒岳登山とキレンゲショウマ観賞会。

地元企業などのたゆまぬ管理のおかげで、一度数を大きく減らしたキレンゲショウマが元気を取り戻しつつあります。まだまだ元の数には届きませんが、数を増やし慎ましやかに咲いているキレンゲショウマの姿をぜひご覧いただきたいと、保護区域内の動画を撮影してYouTubeにアップいたしました。

今年のキレンゲショウマの姿を、ぜひご覧ください!



▲YouTube「諸塚村観光協会」で検索🔍

編集後記

コロナ感染も、デルタ株が猛威を震い中々収まりませんが、国の2回目のワクチン接種率が50%を越えたとの報道もあり徐々に収まる事を祈りつつ。 尾形

黒岳のキレンゲショウマの群生地では懸命な保護活動のおかげで3年前のシカ食害危機からかなり復活し、多くの花が見られるようになっていきます。今年は宮崎大の研究者の方をご案内する機会があり、専門家の視点から助言もいただきました。来年こそは皆さんに、素敵なお花を見て頂けますように! 田邊

十五夜を過ぎると秋らしい冷たい風が吹き、朝晩は寒いと感じるようになってきました。彼岸花もまだ綺麗に咲いていますが、少しずつ衣替えを初めています。 黒木

今年は、5月の頭から8月後半まで雨が降り続いた長い長い雨期でした。こんなに太陽が恋しくなったことはありませんでした。その分、最近は青空が見られるだけで幸せな気分になれます。 金子

早いところでは稲刈りが始まったそうです。気づけばセミの鳴き声も聞こえなくなっていました。秋ですね。 岩切